

日韓やきもん交流展

From South Korea

Lee hak-cheon Lee seok-yun Lee Jong-tae Gim yeong-sik Song gi-jin

From Karatsu

岡本作礼 梶原靖元 川上清美 藤ノ木土平 丸田宗彦 中里太郎右衛門

2015.11.21 (土) - 2016.1.11 (月・祝)

佐賀県立名護屋城博物館 企画展示室

開館時間 9:00 ~ 17:00 観覧無料

[休館日] 月曜日※月曜日が祝休日の場合はその翌平日 / 年末 12月29日~31日 ※1月1日~1月3日は開館しています。

[主催] 佐賀県立名護屋城博物館、日韓やきもん交流推進委員会

[後援] 唐津市、佐賀新聞社、西日本新聞社、唐津市、唐津やきもん祭り実行委員会、佐賀大学ひと・もの作り肥前陶磁研究所

日本の陶磁器は豊臣秀吉の朝鮮出兵を機に大きく発展したとされています。当時、朝鮮半島から連れてこられた陶工達によって優れた焼物の技術が日本各地の産地に伝えられました。中でも唐津は古来より朝鮮半島・中国大陸との海上交通の拠点であり海外との交易の中心地だったため、唐津焼の起源は朝鮮出兵以前にまで遡るとされています。朝鮮出兵以後に新たな技術とより多くの陶工達によって生産量が拡大しました。

今回の展覧会では朝鮮半島から伝えられた焼物の技術を元に独自の発展を遂げた現代の唐津焼と伝統を守りながら今も受け継がれている現代の朝鮮陶磁器をご覧ください。常設展示である日本列島と朝鮮半島の交流史も合わせてご覧いただき日韓両国の歴史も踏まえた上で焼物を見ていただくとまたいろいろな思いが生まれるかもしれません。

韓国



李 鶴天

Lee hak-cheon



李 錫潤

Lee seok-yun



李 鍾泰

Lee jong-tae



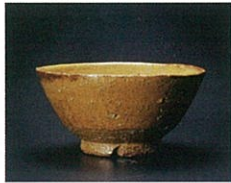
金 榮植

Gim yeong-sik



宋 基珍

Song gi-gin



唐津



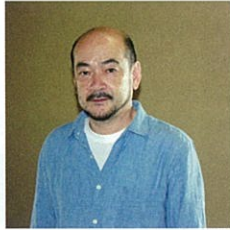
岡本 作礼

Okamoto Sakurei



梶原 靖元

Kajihara Yasumoto



川上 清美

Kawakami Kiyomi



藤ノ木 土平

Fujinoki Dohei



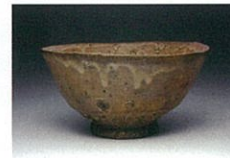
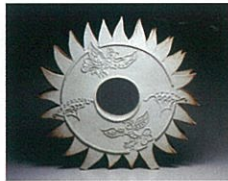
丸田 宗彦

Maruta Munehiko



中里太郎右衛門

Nakazato Tarouemon



佐賀県立名護屋城博物館

Saga Prefectural Nagoya Castle Museum

〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3

TEL:0955-82-4905 / FAX:0955-82-5664

URL <http://saga-museum.jp/nagoya/>



佐賀県立名護屋城博物館までのアクセス

【公共交通機関】

唐津大手口バスセンターもしくは
JR西唐津駅から昭和バスで約40分
「名護屋城博物館入口」降車、徒歩5分

【自動車】

《福岡方面から》
福岡都市高速・福重ICから
前原有料道路・二丈浜玉道路を利用し約60分
《佐賀方面から》
長崎自動車道・多久ICから約60分